

令和5年度第2回四條畷市男女共同参画審議会 会議録

1. 日 時：令和6年1月29日（月）13時00分～14時35分

2. 場 所：四條畷市役所東別館2階 201会議室

3. 出席者：（委員）11名

細見委員（会長）、木下委員、岸田委員、土井委員、吉田委員、山崎委員、
鹿海委員、細山田委員、佐々木委員、山北委員、吉田委員 ※順不同

（事務局）4名

笹田（市民生活部長）、太田（人権・市民相談課長）

谷口（人権・市民相談課長代理兼主任）、織田（人権・市民相談課主査）

欠席者：（委員）1名 リングホーファー委員

傍 聴：0名

4. 主な審議案件

- (1) 男女共同参画に関するアンケート調査について
- (2) その他

5. 配布資料

- (1) 男女共同参画に関するアンケート調査
- (2) 生理用品の試行設置について（報告）

6. 会議録

●事務局

ただいまから、令和5年度第2回四條畷市男女共同参画審議会を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところご出席くださり、ありがとうございます。司会進行をさせていただきます谷口です。

まず、本日の委員の出欠状況でございますが、審議会委員総数12名中、出席委員11名、欠席委員1名でございます。男女共同参画推進条例施行規則第13条の第2項の規定に基づき、過半数の出席を頂いておりますので、本日の会議が成立しています事をご報告させていただきます。

また、この審議会につきましては「会議の公開に関する指針」に基づきまして公開としておりますのでよろしくお願い致します。なお、現在傍聴希望者は、おられない事をご報告いたします。

最初にお願いがございます。議事録作成のため、ご発言いただく際はマイクの使用をお願いいたします。それでは、お配りしている資料について、確認させていただきます。

本日本配布の「男女共同参画に関するアンケート調査(2024年1月案)」「生理用品の試行設置について(報告)」

以上の2点でございます。不足の資料がある方はお知らせください。

これより議事進行につきましては、四條畷市男女共同参画推進条例施行規則第12条第2項の規定により、細見

会長にお願いいたします。

それでは会長、よろしくお願いいたします。

●会長

おはようございます。アンケート調査の設問内容についてということで、1時間ぐらいを予定しております。今回の会議はアンケートについてと、前回の会議で説明が足りなかったところについて説明を願います、ということです。

では、持ち越し事項の回答について、先にお願いします。

●事務局

前回、岸田委員より人事課長にご質問のありました、四條畷市特定事業主行動計画についての計画の策定は、という件と男女賃金格差は、との質問をいただいていたかと思えます。

今日は人事課長の出席はございませんが、聞き取りをしておりますので、そちらの方お答えさせていただきます。行動計画の策定については、今現在できていないということで、報告をいただきました。

また賃金格差の数値については、前回人事課長のお答えでは、年度内での集計を目標でということだったのですが、現在まだ集計中ということで、今回はまだご報告ができないということです。以上です。

●会長

では、今回のアンケート調査について事務局からお願いします。

●事務局

あじさいプランの改定にともなうアンケート調査を、年度当初に無作為抽出した市民1000人を対象に実施する予定です。

1月案の変更点としましては、ルビの振り忘れなど、体裁をいくつか修正している他、データを集計する際のOCRでの読み込みに合わせて、回答方式を全体的にチェックボックスにチェックを入れていただいたり、選択した数字を記入いただくように変更しております。

また、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が今年4月1日に施行されるのを踏まえて、14ページ問14の自力では解決できない問題に直面した経験についての質問と、16ページの問16(13)法律についての認知度を調べる項目を増やしています。

前回お渡したアンケート案の内容と、今回お配りしている2024年1月案の内容をふまえて、委員のみなさまから何かご意見などありましたらお願いします。

●会長

この調査はこれからの計画の改定であるとか、基礎資料として使うということです。前は10年前に行ったことです。その時と比べて変わっていることも多いです。回答率を上げるというのはずっと問題になっております。回答しやすいようにするにはどうすればよいか等、実りの多い会にしたいと思っております。

アンケート調査がみなさまの手元にあると思います。ここで10分~15分ぐらい時間をお取りしますので、実際にやってみようと思います。よろしいでしょうか。記入する時に「答えるのが難しい」「答えられない」と思った箇所があれば、バージョンアップしていきたいと思えます。

(各自回答)

●会長

そろそろよろしいでしょうか。答えにくいところや改善点等お願いします。

●佐々木委員

不同意性交等罪というのが去年の7月に改正されて成立したんですね。強制的性交等罪と準強制的性交等罪と分かれていたんですが、不同意性交等罪として一つになりました。つきあっている恋人同士でも夫婦間であっても該当す

ることがある。条件はいろいろありますが、妻が完全に拒否していたら法律上犯罪になることになりました。

そのことを、この質問の中に入れられるところはないかなと思いました。案として考えられるのは問12の「パートナー間で行われた場合、それを暴力だと思えますか」の回答5に、「無理やりポルノ画像を見せる」があるんですが、そこに不同意性交等罪（同意のない性交渉）を入れるか、あるいは問16のところの、「男女共同参画社会」とか「LGBT」であるとか用語や法律が並んでいるところがあるんですが、ここに不同意性交等罪について知っていますかと入れるか、ということをご提案します。

去年の7月に法改正があって、夫婦間でも犯罪になるというふうに変ったという点を入れたいなど、個人的な意見として思いました。

●会長

どこに入れるかということは、16に法律として入れて、※で法律の説明を加える、ということでもよいかも知れませんね。新しい法律として入れるということですね。

●佐々木委員

去年の7月のことなので、まだご存じの方も少ないかと思うので。

●会長

次、いかがでしょうか。

●木下委員

気になったところを順番にいけばよいでしょうか。

●会長

はい。それで結構です。

●木下委員

まず1ページの性別のところです。男女があってその他というのがいつも気になっていて、メインストリームではないというか、排除しているように受け取られる方もいらっしゃるのではないかと思います。これも回答しないとした方がよいように思います。

あとGのところ、未婚だけなんですけれども、未婚というのは結婚しないといけないけどできていない、というようになってしまうので、非婚としたらどなたにでもあてはまるのではないかと思います。

それとHの年収の部分なんですけど、夫婦ともに正職員の場合は、600万円ではなく、もう少し上限をあげてもいいのではないかと。あえて小刻みにした方がいいと思うのは、年収の低い世帯とそうではない世帯の差が明確になるのではないかと、思いました。

3ページの問1(3)です。若い方からしたらテレビや新聞というのは、メディアから外れていますので、テレビ・新聞等メディアの取り扱いでとした方がYouTube動画とか全部入りますので、メディアという言葉を入れたほうがよいと思いました。

8ページです。問8の1です。育児介護休暇制度というところが、休暇というのが法律と照らし合わせると違和感がありまして、意図的にされているのでしたら別ですけれども、育児介護休業制度のほうが良いと思いました。

それと13ページの問14で、いろんな方がアンケートに答えられると思いますので、セクハラは浸透していると思いますが、これ何だろうと答えが止まってしまうので、マタハラは下に説明があった方がよいのではないかと思います。

14ページの問16のジェンダーの説明なのですが、社会的文化的性別というように、文化的という言葉がある方が一般的だと思います。

16ページです。問17で突如、性的マイノリティの質問なんですけど、高齢の方、年齢によらないかもしれませんが、性的マイノリティについても説明があった方がよいのではないかと思います。

最後、問18の2の2です。これはアンコンシャスバイアスのことだと思いますが、男性に係ることも多いですので、女性を取り巻くのではなく、男女を取り巻くにした方が良いと思いました。

以上です。

●会長

ありがとうございます。考え方について勉強になりますね。はい、どうぞ。

●岸田委員

アンケートをやってみましたが、10分では12問ぐらいしかできず、いろいろ考えながらやっていると結構時間がかかるなと思いました。回答率を上げるには、アンケートは答えやすい中身、できるだけ少ないほうがという思いがあったのですが、大事な中身なので、どれを削るかっていうことまでは考えにいたらず、答えは用意ができておりません。逆に設問を増やすようなことを言うかもしれないかもしれませんが、気づいた点を言わせていただきます。

5 ページの問2の2ですね。これらの答えはそれで構わないのですけれども、性別で役割分担を決めるべきではないと思うから、というような答えを私はしたいと思いました。その他のところで答えてもらうのもいいんですけれども、ジェンダーで言われているのはそういうことだと思いますので、あえて入れていただけたらと思いました。

6 ページの問4の平日と休日という分け方が私は正直よく分からなくて、休日は人によって違います。土日なのかその人にとっての休日なのか分からないところがありました。とくに仕事のところの質問をどうするのか迷いました。市としてはどのように考えているのでしょうか。

問5の「女性が仕事につくことについてどのようにお考えですか」の質問に、結婚や出産育児のことについて書かれているのですが、男性の育児休暇についても同じような質問をできないかなと考えています。男性の育児休暇についてどう思うかについて入れると、問いが長くなってしまうので、それに関しては、問11の今後男性が家事・子育て、介護、地域活動等に積極的に参加するために、どのようなことが必要と思うかというところで、男性が育児休暇、介護休暇を取りやすい環境を整える、ということを追加で入れられないかと思いました。

その前の現在仕事をしている方へ何を優先するかという問10です。個人の生活というのが自分の時間という捉え方なのか、趣味の時間という意味なのかちょっと分かりにくかったです。

問14、先程おっしゃっていたように、今は個人で情報を得る媒体が数多くあって、インターネットとテレビ、新聞なんかは全然報道の仕方が違って、自分が取得したい情報が得られる。ネットなんかは自分が関心のある情報が次々流れてくるという状況というのがあります。取得したい情報が人によっても違うので、これを一緒にするのが、どうなのかなと。あなたがよく目にするメディアはなんですか。そのメディアはこの4つのことについてどうですか。

そこまで区別しなくてもよいかもしれませんが、インターネットは特に違うのかなと思ったので、区別をつけた方がいいのかなと思いました。

●吉田委員

11月にいただいたアンケートとほぼ一緒かなと思うのですが、答えていく中で出てきたことなんですが、1ページの性別のところ、年代別でどこまで分析されるのかは分からないのですが、10代、20代としたほうが答えやすいかなと私は思いました。

Cにいきなり結婚についての質問について出てくるのですが、男女共同参画で、多様な生き方と言われる中でこの設問を前にもってくるのはどうかなと思いました。あと、選択肢をなるべく少なくした方が答えやすいと思います。

3ページ問2の1で日本の伝統・美德だと思うからとあるのですが、今時こういう考え方の選択肢はいるのかな、ということが疑問に思いました。3で子どもの成長にとって良いと思うからではなく、望ましいと考えるからにした方が良いでしょうと思いました。

4ページの問2の2で「一方的な考え方を押しつけるのはよくないと思うから」とありますが、これがアンコンシャスバイアスかなと思いますので、思い込みとなるのかなと思います。

5ページで仕事と家事の時間について答える質問があって、時間がすごく細かく分かれているのですが、そこまで分析しないのであれば、仕事にかかる時間をもう少しざっくりでもよいのかなと思いました。

問6の(7)で「働き続けやすい雰囲気」とありますが、「働き続けやすい環境」でいいかと思います。7ページで64歳以下対象で聞いているのですが、いきなり子どもが保育施設に入所できなかったためというのが一番上にきているので、若年層に聞いているような質問ですので、他の質問のほうが順位が上がっていくのかなと思いました。

10ページの問11で、2に男性の家事、子育て、介護等への参加に対して評価を高めることとありますけれども、女性だったら当たり前、男性だったら評価を高めるというのは、そういった表現はここではどうかと思いました。7で家庭や地域活動と仕事の両立などについて、男性が相談しやすい窓口を設けること。こういったことで男性が相談する窓口があるのかどうか、気になりました。

問12で精神的暴力とか身体的暴力について聞いているところですが、設問が多いので、まとめたらどうかと思います。

14ページの問16ですけれども、SDGsで5番目の目標がジェンダー平等ですので、その知名度について入れていただけたらと思います。アンケートというのは、気づきとか啓発にもつながると思うので、みなさんが接しない言葉についてはなるべく注釈を入れただけたらな、と思います、ジェンダーについてもできたら簡単に説明を入れていただけたらと思います。

問17で性的マイノリティが書いてありますが、性的マイノリティと言われる人がとしたほうが良いと思いました。1で学校で理解を深めるための教育を行うことと、なっているのですけれども、学校で過ごしやすい環境をつくることとか、当事者の立場に立っての教育にしたほうが良いと思いました。

●佐々木委員

13ページの問14の回答2に「家庭内でのめごと」というのがあり、何を想定されての回答案かなと思っていました、3の「家事・育児の負担」でもなく4の「離婚問題」でもなく、2の「家庭内でのめごと」ということを私自身で考えたとき、女性が社会に進出する時に、家庭内の固定観念や偏見が出てきて、古い世代の価値観なんですけど、価値観の押し付けが家庭内にあって、そういうことを「家庭内のめごと」と想定しているのかなと思いました。

それと、大変意見が違うのですが、3ページの問2の「日本の伝統・美德だと思うから」というのは、そのように考える方がまだいらっやると思いますので、これは残しておいてほしいと思います。

●会長

どうぞ。

●鹿海委員

勉強になるなと思って聞かせていただいております。私が一番困ったのが4ページの問3で次のことについて、男女の役割分担はどうあるべきだと思いますか。というところが役割分担ありきの答えのように思いますので、私は、全てあてはまらないを選ぶことしかできなかつたんですね。それぞれのパートナーの得意分野と、そうじゃない分野の割合だと思うので、一概にどっちかと言えないので、あてはまらないとしか言えないなど。この分け方に違和感を覚えました。

問1の男女間で平等になっていると思いますか、のところです。一般的なこととして聞かれていると思うのですが、(1)に家庭生活でとあるので、自分の家庭や(2)で所属している会社での概念を聞かれているのかなと選択していたら、次に社会概念的なものが出てきて、基準が急に大きくなっている気がして、自分が置かれている立場での概念じゃないのかなと思ったりして、回答しにくいと思いました。

仕事か家庭かというだけではなくて、自分の時間を使っているということと、家庭のために使っているのと。自分のために使っているのであれば、仕事であろうと趣味のことでであろうと自分の時間とすればいいような気がするのですけれども。仕事か家庭かだけに別れているところに違和感を覚えました。

●会長

一番初めの書き方について引っ掛かりました。チェックの仕方を指導しなければいけないもんなのでしょうか。差し支えない範囲でチェックしてくださいと書いているわけでしょう。それでいいのではないかな、と。

どれが正しいんだろうと、見入ってしまって。いらないのであれば、抜いてもいいんじゃないでしょうか。

それから、あなたの性別は、というところで、男性、女性、回答しない、というところです。気付きをもたせるためには男性、女性にしてもいいとも思うんですが、今回はこうしておきましょうか。10年前はその他がなかったんですよ。男性と女性だけで。木下さんの意見、回答しないを採用させていただきませんか。

それと、年齢が5歳区切りというのが細かいなという意見がありました。10代、20代、30代で問題なければそれでいいかと思います。

結婚についての質問ですが、非婚にするとか、質問自体がいかかなものか、というご指摘でしたね。

●吉田委員

それと、いきなりこの質問を持ってくるのはあれなので、世帯構成を先に持ってくるのはいかがでしょうか。

●細山田委員

G の世帯構成を C の結婚に関する質問のところに来た方が答えやすいのではないのでしょうか。子どもがいるかどうかというのは、世帯構成で答えているのでよいかと思います。

●会長

C の質問で期待をするものが何かというところですよ。後の質問にどのような影響があるのか。

●佐々木委員

G で足りるような気もします。

●会長

大胆な意見ですね。事務局どうでしょうか。

●佐々木委員

結婚している人の価値観とそうではない人の男女間の価値観にどれだけ差があるのか、ということをお求めたいのであれば、この問いの意味はある。

●岸田委員

佐々木さんがおっしゃっていることを分析するのであれば意味のあることですよ。

●会長

とりあえずは、G のところを C にしてということで、ちょっと考えてみてもらいたいと思います。

それから、H の収入については600万以上よりもう一つ増やしてみてもいいということですね。600万以上ということなので、このままいってみましょうか。

それから、問1のテレビ新聞メディアを入れるということですね。なかなか答えにくいですよ。おっしゃっているように。ただ、国もこのデータでずっとやってきているんですよ。経年変化を見るということでご了解をいただければと思います。

次は、日本の伝統・美德だと思うから。どうでしょうか。これはこのままでいきましょうか。それから、問2の2ですね。一方的な考え方を押し付けるのはよくないと思うから、ということで、アンコンシャスバイアスの字句をどこかに入れるということでしょうか。どうでしょう。そこまではしなくてもいいでしょうか。

男女の役割分担はどうあるべきだと思うかですね。そのままでおかしいでしょうか。

●佐々木委員

私は実はこのままでいいと思っていて、役割分担って何ということ、分かっていらない方もいらっしゃるん

ですよね。男性の中には全部妻がすべきだろう、というように。これって分担だったのと、項目を見ることで気づきにもなるかなと思っているのですが、皆さんのお考えはどうでしょう。これも経年変化でしょうか。

●会長

これも経年変化だと思います。このご指摘は男女の役割分担というのが、そもそもおかしいというようなご指摘でしたね。

●山北委員

あなたのお考えに近いものを選んでくださいなので、私はこの質問自体はおかしくないのではないかなと思います。

●鹿海委員

もやっとするので、6に書けるところをつくるのはいかがでしょう。いずれにも当てはまらなかった人が意見を書けるところがあってもいいかな、と思いました。

●会長

それは一番後ろのところが良いのではないのでしょうか。

●鹿海委員

そういうことですね。

●岸田委員

問2の2で性別のみで役割分担を決めるべきではないと思うというのを選択肢に入れてもらえたらと思います。

●会長

その他をやめて入れますか。

●岸田委員

その他は置いといて。スペース的に1個入らないでしょうか。

●会長

その他は残すようにしましょうか。6ページのところです。ざっくりということでした。確かに細かい。

●細山田委員

答えにくいと思います。

●山崎委員

あまりにも多すぎると思います。

●細山田委員

仕事であれば分かるかもしれないけれども。

●会長

そうしましょう。

7ページ。育児・介護休業制度ですね。次に問10で「個人の生活」ではなく「自分の時間」ということでした。そして問11で「評価を高めること」がおかしいということですね。

●細山田委員

質問が男性が参加していくためにはということなので、家事、育児、介護に参加するためにモチベーションを上げるということですね。

●佐々木委員

男性の方が褒めてほしいかどうかという意見を聞いてみたいですね。

●細山田委員

逆に参加をすることで仕事において評価が下がるということがあられるわけですよね。そうした現状があるから、評価を高めたいという選択肢なんでしょうね。男性が育児休暇なんか取ってとなると、逆に評価が下がってしまうわけ

す。今のままだと育児休暇を取ることがイレギュラーになったままで変わらないですよ。

●岸田委員

男性が育児休暇がとれる環境が必要だというのが、今のお話を聞いていて思うのですが、それは別の選択肢で読み取れるので、このままでいいのではないかと思います。

●会長

そうですね。そして次が、問14の自力では解決できない困難な問題のところですね。家庭内でのもめごとが何を指すのかということですね。

●佐々木委員

何かかわかれば納得ができるんですが。

●会長

家庭内での言葉に表されないような嫌な部分。

●山崎委員

同居していなくても、自分の両親とのもめごとなども含めたら、こういう選択肢も必要なのではないかと思います。

●会長

そうですね。分かりました。後はマタハラの説明ですね。

●佐々木委員

マタニティハラスメントと、略さずに書いたら分かるのではないのでしょうか。

●鹿海委員

それと、家事、育児に加えて介護も負担になっているかと思うので、加えてはいかがでしょうか。

●会長

そうですね。それから次は問16で社会的文化的性別ということですね。

問17は性的マイノリティの人がということですね。当事者の立場に立って。学校で過ごしやすい環境をとということですね。

●吉田委員

学びやすい環境の方が良いですね。

●会長

学校で理解を深めるための教育や、当事者が学びやすい環境ということですね。

そして最後に思いの丈を書いていたということですね。

●吉田委員

SDGsは加えていただけののでしょうか。

●会長

法律や制度の部分ですね。

●佐々木委員

SDGsは沢山の項目があって30ほどありますので、どの項目を入れるのでしょうか。

●吉田委員

5番ですね。男女共同参画の。

●木下委員

SDGsというだけで、5番と言わなくてもいいのではないのでしょうか。

●会長

そしたら問15に加えるということで、よろしいでしょうか。

次第2その他の生理用品の試行設置を事務局からご説明をお願いします。

●事務局

では、お配りしている資料2をご覧ください。生理用品の試行設置についてのご報告をさせていただきます。

期間が令和6年1月12日から当面の間、ということとさせていただきます。現在もトイレ内に設置しております。場所ですけれども、各トイレ内の手洗い場のところに、裏面の写真のとおりボックスを置いて、その中から自由にとっていただくという形をとっております。試行期間ということで、全てのトイレではないのですが、一部トイレで試行設置をしています。

配布物は生理用ナプキン。対象者はどなたでもご利用いただけるようにしております。あわせて、QRコードを設置して、アンケートに答えていただくようにしています。以上です。

●会長

1月12日からということで、何か反響はありますか。レスポンスはまだでしょうか。置いたら即日なくなるとか。

●事務局

そうですね、まだアンケートの意見が集まっていないので。

●会長

はい、そしたら引き続きお願いします。

●事務局

その他について2件報告がございます。1件目が男女共同参画推進事業者表彰についてなんですけれども、今月24日に募集をしめきり、1社推薦がありましたので、本日審査委員会を開催します。審査の後、2月中に表彰を行い、市の広報誌やホームページでお知らせする予定です。

次が来年度のスケジュールについてご案内します。来年度の審議会は例年行っている実績報告に加えて、アンケート調査の結果報告を行いますので、2~3回程度の開催予定にしています。第1回目を10月ごろに開催予定にしています。また時期が近づきましたらご連絡いたします。

●会長

ありがとうございます。回答率をかなり高くするための方法というか。効果的な回答をたくさん得ることが大事です。人口構成や平等性のこともあるけれども、10代の投票率なんか低いので、若い人達の意見も取り入れながら調査を実施していくといいのではないかなと思います。

●佐々木委員

QRコードがいいという人と紙のほうが便利いいという人、いらっしゃるかなと思います。お若い人はQRコードの方がいいかもしれませんね。

●山崎委員

1,000人と書いていますが、住基を使って構成をしてから出されるのでしょうか。それとも完全無作為でしょうか。

●事務局

完全無作為です。

●山北委員

ちなみに前は回答率はいくらぐらだったんでしょうか。

●会長

40パーセントぐらいではないでしょうか。

●山北委員

そしたらなかなか良いですね。

●会長

もっと昔は6割ぐらいあったんですよ。

●山北委員

一般的な調査だったら3割ぐらいあったら良いと思うのですが、それぐらいあったら良いですね。

●会長

回答してください、といってそのままにしておいたらだめなんです。やっぱりそれなりのレスポンスをしやすい方法をしてもらわないと。

●岸田委員

QRコードでできますか。

●事務局

市全体として QR コードを使用してロゴフォームで回答してもらおうという流れになってまして、検討はしていますけれども、携帯で回答をするのが問いが多すぎるので、途中で心が折れそうだなと思うと紙の方が回答しやすいかな、とも思います。予算要求では紙で要求しているんですが、あわせてQRコードでもやっていけたらと思います。

●会長

それでは、ご苦労さまでした。